

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ : 報告数は 187件(前月比0.3, 前年比0.7)でした。本年の1月をピークとして、以後は連続して減少しています。前月比0.3と先月から大きく減少しています。今後は例年通り、収束していくものと推測されます。

小児科定点

(全体傾向) 報告数は4,282件(前月比0.9、前年比0.8)であり、前月比、前年比とも大きな変化はありません。感染性胃腸炎2,267件(前月比0.9、前年比0.8)、手足口病775例(前月比1.4、前年比1.4)が大きく占めています。インフルエンザ187件(前月比0.3, 前年比0.7)は前月比が大きく減少しています

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 19件(前月比0.3, 前年比4.6)。昨年10月をピークとして以後は連続して減少しています。今後は夏場にかけて、例年通りに減少していくものと推測されます。
2. 咽頭結膜熱: : 72件(前月比0.7, 前年比0.6)でした。前月比は0.7と減少しています。例年よりは少ないようです。菊池(4.4)が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 235件(前月比0.9, 前年比0.5)でした。前月比は0.9と大きな変化はありませんが、今年の2月から連続して減少しています。例年よりは低い値で推移しているようです。人吉(17.0)が特に多いようです。
4. 感染性胃腸炎: : 2,267件(前月比0.9, 前年比0.8)でした。前月比、前年比とも大きな変化はなく、例年並みで推移しているようです。山鹿(113.0)、菊池(112.0)が特に多いようです。
5. 水痘: : 71件(前月比0.5, 前年比0.3)でした。前年比は0.3であり、例年より低い値で推移しています。今月の71件は最近1年間で最低の値となっています。水痘の定期接種化の効果を反映している可能性があります。
6. 手足口病: : 775件(前月比1.4, 前年比1.4)でした。1月から連続して増加しており、加えて、例年より高い値で推移しているようであり、今後の動向に注意を要します。八代(37.3)、水俣(30.5)、山鹿(27.0)、菊池(26.0)が多いようです。
7. 伝染性紅斑: : 35件(前月比1.0, 前年比8.8)でした。4月、5月は例年より高い値で推移しており、今後の動向に注意が必要です。
8. 突発性発疹症: : 196件(前月比0.9, 前年比1.0)。例年と同様に推移しているようです。
9. 百日咳: : 2件(前月比0.7、前年比0.3)であり、例年と同様に低い値で推移しているようです。
10. ヘルパンギーナ : 118件(前月比1.7, 前年比0.2)でした。2月から連続して増加しています。昨年比0.2と昨年よりは低めで推移していますが、今後の動向に注意が必要です。天草(10.3)が特に多いようです。
11. 流行性耳下腺炎 : 64件(前月比0.7, 前年比1.5)でした。人吉(15.7)が特に多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数84件(前月比 1.6、前年同月比 1.1)と増加傾向です。年齢別では 20～50 歳代にピークがありますが1～3歳にも散発しています。発症が増加傾向にあることから低年齢層にも注意が必要と考えられます。地域別では熊本83件、八代1件の報告です。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数69件(前月比1.0、前年同月比1.3)で、前月比1件増加し、前年同月比14件増加しています。男女別は、男性23件、女性46件と女性に多く見られています。年齢別は、女性は15～29歳に32件と多く、男性では25～29歳に6件と多く見られています。地区別は、熊本が39件と多く、次いで八代14件、菊池7件、有明6件、御船2件、宇城1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数11件(前月比0.8、前年同月比0.6)で前月比2件減少し、前年同月比6件減少しています。男女別は、男性3件、女性8件でした。年齢別は、女性は30～49歳に7件でした。地区別は、熊本が8件と多く、八代2件、人吉1件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数3件(前月比0.8、前年同月比0.3)で、前月比1件減少、前年同月比は6件減少しています。男女別は、男性2件、女性1件でした。年齢別は、20～24歳に男女各1件、45～49歳に1件でした。地区別は、熊本2件、宇城1件でした。
4. 淋菌感染症 : 報告数23件(前月比1.2、前年同月比0.6)で、前月比3件増加、前年同月比17件減少しています。男女別は、男性に20件と多く見られています。年齢別は、男性は20～29歳に12件と多く見られ、女性は20～24歳に1件、40～49歳に2件でした。地区別は、熊本が13件と多く、次いで有明5件、菊池・八代各2件、宇城1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 報告数 25 件(前月比 1.4、前年同月比 1.2)でした。やや増加傾向です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 : 報告数 7 件(前月比 1.4、前年同月比 1.2)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 : 報告数 0 件(前月比、前年同月と変わらず)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 報告数 0 件(前月比、前年同月とかわらず)でした。
2. 無菌性髄膜炎 : 報告数2件(前月比 1.0、前年同月比 2.0)でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 報告数13件(前月比 2.2、前年同月比 3.3)でした。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数 4 件(前月比 0.1、前年同月比 0.1)でした。大きく減少しました。

届け出対象感染症

| | | |
|--------|-----------------|-------|
| 1類感染症: | 報告はありませんでした。 | |
| 2類感染症: | 結核 | : 28件 |
| 3類感染症: | 腸管出血性大腸菌感染症 | : 18件 |
| 4類感染症: | 日本紅斑熱 | : 1件 |
| 5類感染症: | カルバペネム耐性腸内細菌感染症 | : 2件 |
| | アメーバ赤痢 | : 2件 |